

目標達成計画

作成日: 平成 22年 2月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-(3)	※運営推進会議を活かした取り組み 地域との交流、ボランティアの受入れ、災害時の支援体制など、予めテーマを決めた話し合いを計画すると、より活発な意見も期待され、サービスの質の向上に活かされると思われる。	◎2回/月の外出とイベントの実施	・委員会へのテーマの提供を行う ・委員会からの情報収集 ・グループホーム内担当の実行計画、立案と実施	12ヶ月
2	IV-(15)	※食事を楽しむことのできる支援 職員は配膳や介助で同席するものの、別途、持参した弁当での食事となっていた。交替でも、利用者と一緒に同じものを食することで、味付けや適量、食べやすさ等の確認も出来、話題も広がると思われる。また、時には一緒に献立を考え、食材購入に出かけ、下ごしらえや味見をするなど、できることを一緒にする楽しみの工夫も期待したい。	◎1回/月の外食風料理の提供	・個人の嗜好品を聞き取り調査を行う ・調理人員の減少する土日を利用して給食外料理の提供を行う ・弁当や出前などの料理を提供する ・ご利用者の好きな一品料理を調理し提供する	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。